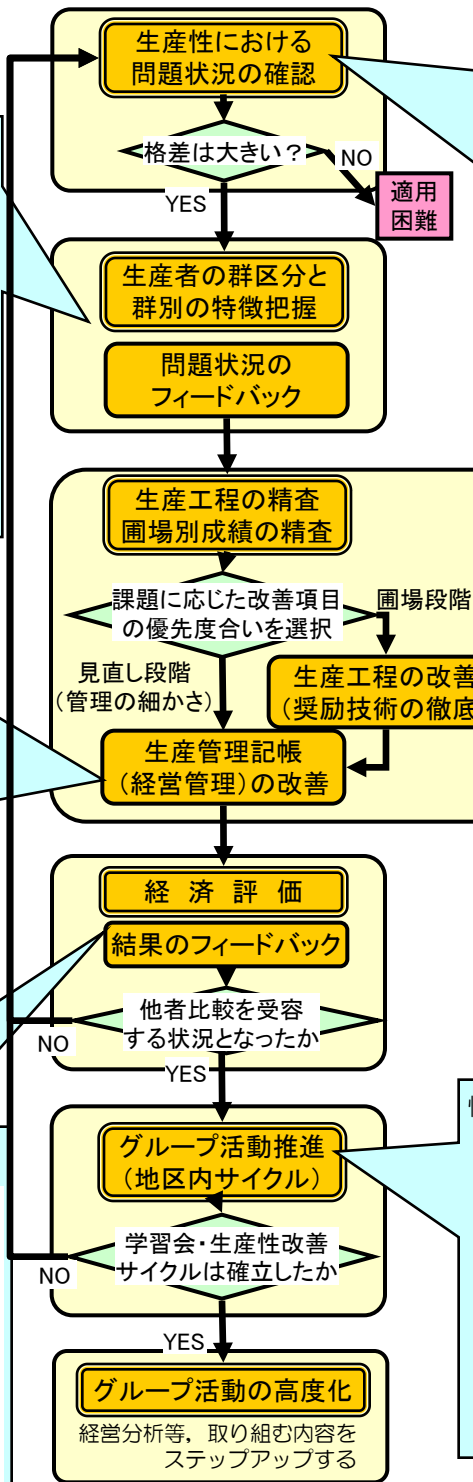




どう上げる，稲作所得？ 集落単位で技術と経営管理を総点検！

集落単位で水稲作の技術と経営管理を見直す手順を実証しました。見直しは以下の手順で進めます。



個人別の単収・品質の年次相関をチェック！

⇒低い人は、毎年、同じか？

聞き取り調査（生産工程と経営管理）で群間の特徴的な差をみる

	H16～19 平均		H19調査							
	製品単収 (kg)	高品質出荷率 (%)	施肥調整 (%)	土改材全筆散布 (%)	株間14cm以下 (%)	畦塗り (%)	溝切 (%)	稲わら搬出 (%)	施肥台帳 (%)	収量台帳 (%)
上位	596	11	67	67	56	89	100	44	67	56
中位	567	3	38	63	38	50	88	25	38	25
下位	517	6	0	17	17	50	50	17	0	0

下位群は、奨励技術の採用に問題
中位群は、条件に応じた管理の細かさ、記帳に問題

⇒精査するポイントを検討

圃場実測による他者比較で改善項目を特定

	育苗工程		管理工程		茎数、穂数	
	移植開始時葉齢 (齢)	苗ムラ大率 (%)	雑草量 (/100cc)	水深冷害危険期 (cm)	幼形期 (/m2)	成熟期 (/m2)
上位	4.5 ± 0.4	13	1.5	14	678	685
中位	4.6 ± 0.4	33	3.5	15	606	645
下位	4.4 ± 0.5	50	7.0	11	479	585

幼形期の姿：観察も効果的

⇒生育過程の報告・観察会等で改善項目への実感を促す

出荷データ、土壌診断値等を整理

上位群では、圃場管理台帳を活用し、圃場に応じた施肥で品質管理を実現！

⇒管理台帳による自己比較を提案

数量化分析で、技術項目の経済性を評価

「なにで、いくら？」を見えるようにする！

⇒チェックリスト等で意識付けを強める

情報ネットワーク調査で、情報交換の過不足と内部リーダーを把握

	内部情報		外部情報		
	経営内対照区設置率 (%)	計	地区外	地区内	ウチ上位群の生産者
上位	67	2.7	0.4	2.2	1.2
中位	2	2.0	0.5	1.5	1.1
下位	33	0.8	0.2	0.7	0.3

下位群では、ネットワークが弱く、情報交換が不足！

⇒グループによる見直し活動を提案